

ランチョンセミナー 2 LS2

2月20日(木) 12:35～13:35

第2会場(本館 201)

自家培養上皮移植 再生医療の実力

～使用経験からの症例紹介～

座長のことば

眼科領域の再生医療は2020年ヒト(自己)角膜輪部由来角膜上皮細胞シート、2021年ヒト(自己)口腔粘膜由来上皮細胞シートから始まり、ヒト羊膜基質使用ヒト(自己)口腔粘膜由来上皮細胞シートやネルテペンドセルと角膜(眼表面)から始まっています。再生医療とは失った組織を再建させることを目的とし、移植した組織を生着させるため、術後管理が重要となります。

今回のランチョンセミナーでは、ヒト(自己)角膜輪部由来角膜上皮細胞シート「ネビック」とヒト(自己)口腔粘膜由来上皮細胞シート「オキュラル」にて自家培養上皮移植術を施行された経験豊富な先生方に術後の移植上皮の状態、眼表面の変化、術後結果から角膜上皮幹細胞症候群に対するアプローチや角膜実質混濁症例へのアプローチについてお話いただきます。

この機会に角膜・眼表面治療に携わる皆様と「自家培養上皮移植 再生医療の実力」について考えていきましょう。

眼表面治療に携わる先生方のご診療の一助となることを願い、多くのご参加を心よりお待ちしております。

座長



Takafumi Yamaguchi

山口 剛史先生

東京歯科大学市川総合病院 部長・教授

演者



Atsuhiko Fukuto

自家培養角膜上皮移植の術後管理
～シート移植後の診るべきポイント～

福戸 敦彦先生

広島大学病院感覚器・頭頸部診療科(眼科) 講師

演者



Koji Kakisu

培養上皮シート移植の実力
～移植経験から～

柿栖 康二先生

東邦大学医療センター大森病院眼科 助教

演者



Tomohiko Tsui

オキュラル症例報告
～シート移植後から角膜移植施術～

臼井 智彦先生

国際医療福祉大学医学部眼科学 教授(代表)

共催：株式会社ニデック